

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2022 年 8 月 29 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 上組
所在地	兵庫県神戸市中央区浜辺通 4-1-11
代表者役職・氏名	代表取締役社長 深井 義博
担当者連絡先	電話：078-271-5122 メール：keieikikaku@kamigumi.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.kamigumi.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は 1867 年（慶應 3 年）に創業した総合物流カンパニーであり、神戸港を中心に日本全国の港湾地域、及びアジア各国等の海外で事業を展開している。港湾運送、倉庫、国内・国際運送、工場荷役請負、重量物輸送、建設事業を主たる事業としており、国際複合一貫輸送のグローバルパートナーとして活動している。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	自社設備の省エネルギー化、再生可能エネルギーの使用により CO2 排出量を削減する。	・事業における CO2 排出量削減 現状：88,902 t (2022 年 3 月期時点) 目標：53,545 t (2030 年 3 月期末)
□環境 ✓社会 □経済	健康経営、人材育成、人権・多様性の尊重により、多様な人財を活かした魅力ある職場環境を創出する。	・有給休暇取得率 65% ・男性育休取得率 10% ・女性及び中途採用役職者人数 20%増加 (2022 年 3 月期比)
□環境 ✓社会 ✓経済	防災・減災、自然災害に対する強靭性への取組みを推進する。	・重大事故ゼロの継続 ・国内主要 4 拠点への非常用電源または大容量バッテリーの設置

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	【予定】 ●管理職に対しアンコンシャスバイアスに関する教育を実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●全従業員に対しeラーニングの義務付け ●相談窓口の設置 ●パワハラ防止ポスターの掲示					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	●人事労務管理システムを使用し、管理職による部下の時間外労働の把握をサポート、並びに人事部による各店への指導								8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	●採用時、求人票において国籍による条件や最低賃金を下回っていないか等の確認			4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●安全パトロールの実施 ●ヒヤリハットの全店回付 ●重大事故件数ゼロ 【予定】 ●全事業所でのGマーク取得		3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	●全従業員に対しeラーニングの義務付け ●年に1度、ストレスチェック実施		3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	【予定】 ●人材多様性の確保に向けた目標値を設定 －女性役職者数20%増加(2022.03⇒2025.03) －中途採用者の役職数20%増加(同上) ●男性の育休取得率10%(2025年3月期末)				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●階層別研修の実施			4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●不合理な待遇差が生じないよう、同一労働同一賃金ガイドラインに沿って対応				5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	●サニーピア健康保険を利用した運動施設・レジャー施設の利用斡旋(海の家、スポーツセンター割引等) 【予定】 ●有休取得率65%(2025年3月期末)		3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	●自治体の定めに則り適切に処理 ●産業廃棄物の量を記載したマニフェストは適切に保管、社内監査を実施										11.6	12.4 12.5		14.1			

12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	<ul style="list-style-type: none"> ●年間電力使用量を集計、HP上で公開 ●クールビス・ウォームビズを実施 【予定】 <ul style="list-style-type: none"> ●自社倉庫照明のLED化率100%(2030年3月期末) ●自社フォークリフト/4t以下のバッテリー化率100%(2030年3月期末) 						7.3			13								
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	<ul style="list-style-type: none"> ●国内事業における年間CO2排出量を「見える化」、HP上で公開 						7.2	7.3			12.4	13.3						
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●冷媒のフロンガスの維持保全点検および関係省庁へ報告の実施 ●PCBの処理計画を策定 		3.9			6.3				11.6	12.4							
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	<ul style="list-style-type: none"> ●神戸市内で土砂災害や自然保護を目的とした植樹・保全活動「森の世話人」を実施 					6.6						15						
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●年間水道使用量を集計、HP上で公開 					6.4	6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	<ul style="list-style-type: none"> ●ISO14001を一部店舗で取得 【予定】 <ul style="list-style-type: none"> ●ISO14001を本店含む複数店で取得 		3.9			6	7			12	13.3	14	15					
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	<ul style="list-style-type: none"> ●自社HPに環境経営に対する方針・取組を掲載 ●コーポレート・ガバナンス報告書に重要課題として目標を明記 									12.6								
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●自社倉庫屋上を利用した太陽光発電を実施 					7.2				13								
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●リサイクルパレット、段ボールパレットを利用した操業 									12.2	13	14	15					
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9							12.4								
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している								9										
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●モーダルシフトの推進 ●自社倉庫の省エネ化・太陽光発電の導入 					6				12	13	14	15					
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●求車求貨システムやバス予約システムの活用した倉庫事業 ●CONPASを利用したCT運営の実証実験 	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4				9		11	12		14	15	16	17	

26 ・ 地 域 貢 献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	●ヴィッセル神戸「ソーシャルシート」への協賛 ●神戸YMCAの各種事業に協賛 ●社会福祉施設への寄付 ●「神戸・みなど体験」を神戸市と共同開催			4						11		14	15	17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	●地域港湾での操業 ●従業員の地域採用活動							8	9		11	12	13		
28 ・ 組 織 体 制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している								8	9					17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	●「企業対象暴力に対する対応規定」を策定 ●企業防衛対策協議会に加盟 ●法令遵守を企業指針として全従業員に周知・人事評価事項に設定													16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	●「環境保全推進本部」を設置 ●脱炭素化目標を含め進捗や成果を管理し施策を提案する													16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●コーポレート・ガバナンスコードやIRの適時公表 ●広報部によるIR対応													16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	●リスクマネジメント部の設置													16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる														16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	【予定】 ●全拠点でのBCP策定 ●非常用電源または大容量バッテリーの設置 ●重大災害訓練の実施									9		11	13.1		16
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている										8	9				17

上記以外で設定した取組項目

(様式第4号)

令和 5年 8月 22日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 兵庫県神戸市中央区浜辺通四丁目1番
11号

名 称： 株式会社 上組

代 表 者： 深井 義博

登録年月日： 2022年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	自社設備の省エネルギー化、再生可能エネルギーの使用によりCO ₂ 排出量を削減する。	・事業におけるCO ₂ 排出量削減 現状:88,902t(2022年3月期時点) 目標:53,545t(2030年3月期末)	・86,399t (2023年3月期時点)
□環境 ✓社会 □経済	健康経営、人材育成、人権・多様性の尊重により、多様な人財を活かした魅力ある職場環境を創出する。	・有給休暇取得率65% ・男性育休取得率10% ・女性及び中途採用役職者人数20%増加 (2022年3月期比)	・有給休暇取得率60.7% ・男性育休取得率15.0% ・女性役職者人数9.1%増 ・中途採用役職者6.5%増 (2023年3月期時点)
□環境 ✓社会 ✓経済	防災・減災、自然災害に対する強靭性への取組みを推進する。	・重大事故ゼロの継続 ・国内主要4拠点への非常用電源または大容量バッテリーの設置	・重大事故ゼロ (2023年8月期時点) ・非常用電源等設置数0件 (2023年8月期時点)

(様式第4号)

令和6年10月7日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 兵庫県神戸市中央区浜辺通四丁目1番
11号

名称： 株式会社 上組

代表者： 深井 義博

登録年月日： 2022年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	自社設備の省エネルギー化、再生可能エネルギーの使用によりCO ₂ 排出量を削減する。	・事業におけるCO ₂ 排出量削減 現状:88,902t(2022年3月期時点) 目標:53,545t(2030年3月期末)	・96,801t (2024年3月期時点)
□環境 ✓社会 □経済	健康経営、人材育成、人権・多様性の尊重により、多様な人財を活かした魅力ある職場環境を創出する。	・有給休暇取得率65% ・男性育休取得率10% ・女性役職者比率(管理職除く)30% (2022年3月期比)	・有給休暇取得率63% ・男性育休取得率23% (2024年3月期時点)
□環境 ✓社会 ✓経済	防災・減災、自然災害に対する強靭性への取組みを推進する。	・重大事故ゼロの継続 ・国内主要4拠点への非常用電源または大容量バッテリーの設置	・重大事故ゼロ (2024年3月期時点) ・非常用電源等設置数0件 (2024年3月期時点)

(様式第4号)

令和 7年 10月 31日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 神戸市中央区浜辺通4丁目1番11号
名 称： 株式会社 上組
代 表 者： 深井 義博
登録年月日： 2022年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	自社設備の省エネルギー化、再生可能エネルギーの使用によりCO ₂ 排出量を削減する。	・事業におけるCO ₂ 排出量削減 現状:88,902t(2022年3月期時点) 目標:53,545t(2030年3月期末)	・93,107t (2025年3月期時点)
□環境 ✓社会 □経済	健康経営、人材育成、人権・多様性の尊重により、多様な人財を活かした魅力ある職場環境を創出する。	・有給休暇取得率65% ・男性育休取得率10% ・女性及び中途採用役職者人数20%増加 (注1) (2022年3月期比)	・有給休暇取得率65.9% ・男性育休取得率48.4% (2025年3月期時点)
□環境 ✓社会 ✓経済	防災・減災、自然災害に対する強靭性への取組みを推進する。	・重大事故ゼロの継続 ・国内主要4拠点への非常用電源または大容量バッテリーの設置	・重大事故ゼロ (2025年3月期時点) ・非常用電源等設置数0件 (2025年3月期時点)